第16期船橋市男女共同参画推進委員会第9回会議録

1. 開催日 令和3年9月16日(木) 午後1時30分から
2. 開催場所 市役所9階 第一会議室
3. 出席者 10名(欠席3名)
4. 傍聴者 3名
5. 議題
 - (1) 第8回推進委員会でのご意見について
 - (2) 第4次船橋市男女共同参画計画について
 - (3) パートナーシップ宣誓制度について

〈事務局〉

定刻となりましたので只今より第9回船橋市男女共同参画推進委員会を開始させていただきます。この会議は、船橋市情報公開条例第26条の規定に基づき公開となっております。また、会議録につきましても市のホームページで公開いたします。

配布資料の確認をさせていただきます。次第をご覧ください。

配布資料は事前に郵送させていただいた、

資料1 第4次船橋市男女共同参画計画 素案

資料2 ふなばしパートナーシップ宣誓制度ガイドブック(案)

がございます。

不足等ございませんでしょうか。

よろしければ、以上で、配布資料の確認を終わらせていただきます。

〈事務局〉

では、本日の議題に入りたいと思います。この後の進行につきましては、船橋市男女共同参画推進委員会設置要綱第5条に基づき、会長の大石様をお願い致します。それでは大石会長お願いいたします。

〈大石会長〉

それでは次第に沿って、会議を進めていきたいと思います。

まず議題(1)「第8回推進委員会でのご意見について」事務局から説明があります。事務局よろしく申し上げます。

〈事務局〉

議題(1)第8回推進委員会でのご意見についてご説明します。

まず前回の会議では、第4次船橋市男女共同参画計画に農業委員会が加わり、「女性委員の参画の促進」を予定していることについて、委員から、他の行政委員会にも「女性委員の参画の促進」を目指してもらうことはできますかといったご意見がございました。こちらについて、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員事務局に委員の意見をお伝えしました。そのうえで現状を伺ったところ、教育委員会は教育長を含めた5名の委員ですが内訳は男性3人と女性2人、選挙管理委員会は4名の委員ですが内訳は男性2人と女性2人、監査委員事務局は4名の委員ですが内訳は男性1人と女性が3人となっており、それぞれで一番委員に適している方が選ばれているなかで、現在いずれの委員会においても男女比40%以上であり、目標は達成していると考えております。

次に、黒田委員から御指摘のあった、「性的少数者の方のパートナーシップに関しては、計画上どこにあたるのか」という点についてご報告いたします。

以前の話ですと、素案の体系上、周知としての位置づけなのか、支援としての位置づけなのかというご質問だったのですが、これは支援という位置づけにする予定です。

体系のレイアウトの都合上、事業名称の「性的少数者の支援のための交流会等の開催」の、交流会等の中に含める形になり、直接体系の中に「パートナーシップ宣誓制度」の名称は入れませんでした。今年度スタートする新規の取り組みですので、制度の説明を計画書本文に記載いたしました。具体的な場所については、次の議題で改めてご説明いたします。

続きまして、前回の会議の中で、男女共同参画計画の事業評価報告書に予算決算額を記載してはどうかという意見をいただきました。

また、コストパフォーマンスを確認し、事業の必要性を判断するといったご意見をいただきましたが、各課の事業は、例えば子育て支援サービスの充実のために、多様化するニーズに応じた保育の充実を図るなど各課の目的を達成するために実施しております。

一方で、男女共同参画にも資する事業であることから、男女共同参画計画の事業評価を評価報告書に掲載しているものでございます。

男女共同参画事業評価報告書はあくまでも男女共同参画の視点から、各課がどのような事業を行ったかという報告書となりますので、網羅的な評価報告書にあらかじめ予算決算額を記載するのではなく委員より、特にご指摘をいただいた部分についてを、担当課に確認の上、会議で報告をさせていただければと思います。

事務局からのご説明は以上でございます。

〈大石会長〉

ありがとうございました。では前回の意見3点についての説明となりましたが、加えて何かご質問、ご意見はございますか。

〈木暮委員〉

ということはこちらの委員会で、もしもこの事業の予算額とか疑問を持った場合に、この会議において質問があれば、予算額は教えていただけるって判断でよろしいですか。

〈事務局〉

先ほどもお伝えしました通り、推進委員の皆様からの疑義が出た場合につきましては担当課に確認の上、この会議でご報告するといった流れを取らせていただきたいということです。

〈木暮委員〉

はい。聞けるのであればそれで大丈夫なので。ありがとうございます。

〈大石会長〉

ほかにいかがでしょうか。

〈大石会長〉

よろしいですか。はい。それでは議題の2に移ります。第4次船橋市男女共同参画計画について、事務局から説明をお願いいたします。

〈事務局〉

議題2の第4次船橋市男女共同参画計画について説明いたします。

資料1 第4次船橋市男女共同参画計画 素案をご覧ください。

これまで、委員の皆様には体系案と該当予定事業一覧をお示しし、意見を頂戴いたしました。

このたび、計画書の素案を作成いたしましたので、ご説明いたします。

なお、まだ修正中の部分がございます、その部分は「修正中」と記載しております。

ページを2枚めくっていただきますと目次がございますのでご覧ください。

まず計画の構成でございます。

I (ローマ数字). 計画の基本的な考え方として、「1 計画策定の趣旨」、「2 計画の性格」、「3 計画の期間」、「4 計画の基本理念」、「5 船橋市の現状」を

次にII. 基本計画として「施策の体系」、「課題」と「方針」となっております。

III. 計画の総合的・効果的な推進として、「1 計画の推進体制」、「2 計画の進行管理」「3 男女共同参画センターの充実」「4. 指標一覧」となり、最後に用語解説と、参考資料として関係法令を掲載する予定でございます。

計画の基本的な考え方について説明いたしますので、1枚めくってください。こちらからページ番号を振ってありますので、ページ番号で進めさせていただきます。

2ページをご覧ください。

まず「1 計画策定の趣旨」ですが、近年の状況としては、国際情勢に目を向けると、国連では持続可能な開発目標（SDGs）の17のゴールを掲げて、ゴール5では令和12年までにジェンダー平等の実現を目指していますが、日本は諸外国と比べてジェンダー平等推進のスピードは遅いこと、加えて新型コロナウイルス感染症拡大によって顕在化した配偶者等からの暴力などは男女共同参画の重要性を改めて認識させることとなったことを記載しました。

本市ではこうした状況を踏まえ、依然として残る固定的性別役割分担意識の解消や、仕事と生活の調和の推進、配偶者等からの暴力の防止等に、継続して取組を進めていく必要があるとの認識から、基本的には現行計画を踏襲しつつ、国や県の計画を参考に第4次船橋市男女共同参画計画を策定しております。

3ページをご覧ください。「2 計画の性格」ですが、本市の計画は、男女共同参画基本法において策定が努力義務とされている市町村男女共同参画計画であり、女性活躍推進法やDV防止法に基づく市町村推進計画としても位置付けています。

「3 計画の期間」は、現行計画が令和3年度で終了することから令和4年度から8年度までの5年間としています。

4ページをご覧ください。「4 計画の基本理念」は、現行計画では3つの基本理念にしておりましたが、4次計画では（1）男女の人権の尊重、（2）社会における制度又は慣行についての配慮、（3）政策立案、方針決定の場への男女共同参画、（4）家庭生活と社会生活の両立、（5）国際的協調の5つとしました。

5ページをご覧ください。「5 船橋市の現状」については、船橋市の現状を示すグラフを5ページから8ページにかけて掲載する予定です。

続きまして「II 基本計画」を説明いたします。10ページをご覧ください。

「施策の体系」を見開きで載せていますが、左から、「目標」「課題」「方針」「方策」「方策の方向性」で示しております。なお、女性活躍推進法やDV防止

法に基づく市町村基本計画に位置付けている方針には星で印をつけています。

この「施策の体系」に沿って、12ページ以降は課題・方針・方策の詳しい内容について、各課題に関連するアンケート結果やグラフデータを交えながら記載しています。例えば、12ページでは課題の説明とグラフ、13ページでは方針の説明とグラフ、14ページでは方策の説明と方策の方向性を記載し、更に、前回ご覧いただいた該当予定事業を基に各課の事業を記載しております。このような形で36ページまで課題ごとに記載しておりますが、現行計画との主な違いを説明させていただきます。

18ページをご覧ください。ハラスメントに関することについては、現行計画では「多様な働き方を可能にするための支援と制度の周知」の取組の一部でしたが、4次計画では課題Ⅰ方針2の方策⑥に「ハラスメントが行われない職場づくりの促進」を加えました。そのため、2ページ戻った16ページの方針2の説明では、仕事と生活の調和についての記載の最後に、ハラスメントが相手に不快感や不利益を与え尊厳を傷つける行為であることの認識を深めハラスメントが行われない職場づくりを促進することを記載し、17ページでは関連するグラフとして関連用語の周知度を載せております。

次に、パートナーシップ宣誓制度についてですが、後からご説明すると議題1で申し上げた部分になります。まず21ページをご覧ください。

現行計画では「高齢者、障害者、外国人、性的少数者が安心して暮らせる環境整備」の取組の一部でしたが、4次計画では課題Ⅱの方策⑧に「性の多様性に関する理解の促進と支援」を加えました。そのため、2ページ戻った19ページの課題Ⅱの説明では、性的少数者への差別や偏見の有無についてのグラフを掲載し、引き続き、性の多様性に関する理解を進めていくことの必要性について触れております。20ページでは方針3の説明として、性の多様性に関する理解を促進するとともに当事者への支援を図ること、その一環として「ふなばしパートナーシップ宣誓制度」を導入することを記載しております。

24ページをご覧ください。4次計画から配偶者等からの暴力の根絶を課題Ⅲとして載せておりますので、説明させていただきます。

配偶者等からの暴力の根絶については、現行計画では方針に位置しておりましたので内容は3ページ程度でしたが、4次計画では課題としたことで関連する図や説明が増えて6ページ程度となっております。

課題Ⅲの説明では、DVは潜在化しやすく被害が深刻化しやすいこと、また実際相手からの暴力等が問題となっていることを挙げ、DV防止とDV被害者を保護する取組の必要性について触れております。

25ページをご覧ください。方針4では、DVの潜在化の防止として相談機関の周知と相談支援体制の充実、暴力の予防としてDVやデートDVの周知啓発

を図ることを記載し、併せて、現行計画策定以降の平成30年4月に整備された「配偶者暴力相談支援センター」について触れています。

28ページをご覧ください。方針5では、被害者の保護等の推進として、被害者の安全確保を第一に個々の状況や実情に応じた支援等を行うこと、関係機関との連携を図りながら自立に向けた支援をしていくことを記載しています。

続きまして38ページをご覧ください。「Ⅲ. 計画の総合的・効果的な推進」は、計画の推進体制と進行管理について記載しております。1と2は以前からの記載となりますが、3. 男女共同参画センターの充実、4次計画で加える項目となります。男女センターが身近で利用しやすい拠点となるよう、資料や図書の提供、相談業務、交流の場の提供、企画の実施等により充実を図ることを記載しています。

39ページをご覧ください。こちらは、4次計画の進捗状況を測るための課題ごとの指標と令和7年度の目標値を記載したものです。全体としては現行計画から引き継ぎの指標となりますが、指標⑥性的少数者の周知度は4次計画から新たに加える指標です。

指標①管理監督職への女性職員の登用と⑤市職場における男性職員の育児休業取得率の目標値については、女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画に合わせております。

指標②市の審議会等の女性委員の目標値は、現行計画での目標値が30%であることと、国の示す目標値が40%以上60%未満であることを踏まえて40%としました。

指標③職場における男女の地位の平等感の目標値は、年1%程度の伸び率と想定して30%としています。指標④ワーク・ライフ・バランスの周知度は、現状値が55.8%ですので現行計画と同じ75%を目標値としました。指標⑥性的少数者の周知度の目標値は、年2%程度の伸び率を目指し、90%としています。

40ページをご覧ください。指標⑦DVとなりうる行為の周知度については、現状値が高く、周知が進んでいることを示していますので、目標値は100%としました。

指標⑧DVに関する相談窓口の周知度については、現状値が63%ですので現行計画と同じ75%を目標値としました。

指標⑨保育所等の待機児童数の現状値と目標値は関係課に確認をして記載しております。

指標⑩社会全体における男女の地位の平等感は、現状値が18.7%ですので現行計画と同じ30%を目標値としました。指標⑪「男は仕事、女は家庭」とい

う考え方については、現状値が70.6%ですので現行計画と同じ75%を目標値としております。

続きまして、41ページから43ページにかけては、用語解説になります。

45ページ以降は参考資料として、計画に係る要綱や法律を掲載しております。

説明は以上でございます。

〈大石会長〉

はい。ありがとうございます。では、ただいまの説明に対して、質問ご意見等ございましたらお願いします。

〈石村委員〉

2点質問したいのですが。一つ目は、2ページのところの基本的な計画のところですけども、第3次計画からどこが変わったかという点ですが、計画策定の趣旨にジェンダーという言葉が入ったんですね。これは2030年のアジェンダをベースにしてということの様ですが、大学でも授業ではもうジェンダー論からダイバーシティの方へという形で議論がもう少し進んでいるので、第4次計画で初めてジェンダーという言葉が登場するけども、ちょっとそれは遅いんじゃないかと。性的少数者の問題を扱っておりますので、概念的に言いますと、性の多様性を認める時代にきているということを計画策定の趣旨かどこかで入れていただくのはどうかというふうに私は思いました。

それとの関連で2点目が、DVの扱いですけども新しい項目をたてて、説明されてるのでそれはそれでよろしいかなと思います。私が気になったのは、25ページの上の表で、被害者の年齢が若年化しているんですね。つまりDVってというのは、結婚した男女間の問題だと考えるんですが、そうでなくて、どうも若い人の問題が深刻であるということが伺えます。ということは、これは男女共同参画の議論を少し超えている問題にもなる。つまり教育の問題にも絡んでくるのではないかなと思うので、27ページあたりをみても学校のところの配慮がないんでそこら辺ですね、それを将来的にどうしようとするのか。という事が出てくると思います。コロナだからDVが増えたというふうに一般的に説明されてますが、そうじゃない現象としてもあるんじゃないかと思っておりますので、その点を質問させていただきました。

〈事務局〉

事務局としましては、性の多様性については今後きちんと進めていこうとい

う考えがございますので、現在修正中の市長のメッセージとして載せていければと考えております。計画策定の趣旨になるのか市長のメッセージになるのかの部分については事務局で調整をさせていただきますが、きちんと書かせていただきたいと思っています。

2点目のDVにつきましては、確かに事業をみても学校がでてこないということで、市民協働課としては今もデートDVについて講座等を行っているんですけども、こういった形で教育委員会とできるかというのは持ち帰って検討させていただきたいと思います。

〈木暮委員〉

補足みたいになっちゃうんですけど、学校での教育はすごい大切だと私は思っていて、私事なんですけど、編集者であり作家として色々取材をするなかで若い人に話を聞くと、彼氏の愚痴を聞くんです。その多くが、家に遊びに来たときに私は彼の家の掃除をするけど、彼が遊びに来ると自分の食器を片づけないとか。DVの男性優位の感覚ってそういうところだと私は思っているんです。なので、学校の段階で平等っていうのを教えることが大切だと感じていて、しかもその人の男性の方の話を聞くと、多くは今の付き合い方が平等だと感じているんですよ。だから根本的な些細なところを学生の年代で教えないとたぶん変わっていかないのかなっていうのを少し感じていることを補足で言わせていただきました。

〈大石会長〉

ではこのテーマの関連で他になにございますか。

〈大石会長〉

では私の方から。今更ですみませんが、毎年中学生を対象に行っている標語コンクールは事業としてどこかに載っていましたでしょうか。

〈事務局〉

直接的に載っているわけではありませんが関連する部分としては、事業No. 134のところの男女共同参画の意識の醸成のための各種講座イベント等の開催というところが関係してくるかと思います。

〈大石会長〉

はい。ありがとうございます。
他にいかがでしょうか。

〈片桐委員〉

市民活動団体における女性の参画の促進ということで、その評価数値が今までずっとサポートセンターの運営協議会の委員の数値だけが載っていましたが、他の登録団体の役員の方だけでも結構ですけれども、そういうところの数値を載せることもできるのでしょうか。

〈事務局〉

持ち帰って検討させていただきたいと思います。

〈大石会長〉

たぶん片桐委員としては、できればそれを盛り込んでほしいという意見だと思うので前向きにご検討ください。

他にいかがでしょうか。

〈山下委員〉

細かい部分になりますが、39ページ指標一覧の部分で、令和7年度までの目標値であるのはわかるんですが、令和7年度のその先の最終的な目標値というのは決められているのでしょうか。例えば女性職員の登用が100%になってしまったら、これは女性だけになってしまいます。周知度についても100%が目標値であることは分かるんですが、例えば、育児取得率100%、全員が取らなきゃいけないよっていう義務的なものになるまでを目指しているのか、それとも、ほとんどの人が取っているけれども取らない人もいるよっていうところを目指しているのか、それによって最終的に%はどこを目指しているというのがあれば、7年度ではここを目指しているがまだまだ足りないだとか、モチベーション意識的なところで違ってくると思うんですが、最終的な目標値というのが決まっているのかどうかというところをお聞かせいただければと思います。

〈大石会長〉

山下委員としてはできればそれが見えていた方がいいというご意見もですね。

〈山下委員〉

はい、できればそれでお願いしたいと。

〈大石会長〉

事務局のほうではいかがでしょうか。

〈事務局〉

今ございました管理職の関係や育児休業の関係は目標値を特定事業主行動計画に合わせておりました、職員課の方で市全体の部分の検討を進めておりますので、そういった数値があるかどうかも含めて確認をさせていただければと思います。

それ以外ですと、待機児童も別の課が持っているものになりますので、市民協働課としてお答えできる部分としてはそのアンケートに関するところの目標値という部分では最終的に周知度であれば100%かなとは思いますが、以上です。

〈大石会長〉

山下委員、特に何か追加ございますか。

〈山下委員〉

わかる範囲でこれから確認いただく形で構わないんですが、周知度のようにわかりやすいものはもちろん100%だとはわかりますが、それ以外の部分もできればご確認いただいて、載せていただいたほうがいいのかと思いますのでよろしくをお願いします。

〈大石会長〉

ありがとうございました。

今の関連で私から一つ確認なのですが、39ページの特定事業主行動計画に係る指標①と⑤ですね、これ皆さんもご覧になって思ったのではないかと思うんですけど、今の現状値と目標値の伸び率が非常に低いということで、ただこれはこの会議が主体となる計画では動かさない数字であることは理解しているんですけど、なぜこれしか伸びないのかというか、特定事業主行動計画自体がなぜこの数字なのかというのがわかれば、次回教えていただければと思います。

意見としてはもっと目標値を高くもってほしいと思うんですけど、もうできてしまっている計画なので、実行のところで、より伸ばしていただきたいと思っています。

〈大石会長〉

では他に、他の分野でも結構ですので、質問、ご意見いかがでしょうか。

〈木暮委員〉

DVに対して40ページの8番のどこなんですけど、多分重要なことってD

Vの相談ができることを知っているんだけど、さらにその中で私が必要と思っているのか必要とっていないのか、さらにその必要と思った人の中で、なぜ利用をした人と利用をしていない人とが分かれているのか、っていうデータはめちゃくちゃ重要なんじゃないのかなと思っていて、相談窓口を知ってる人が、多分全員ちゃんと相談できているとは、私はあんまり思ってなくて、その辺のデータがあるならそれを載せた方がいいと思っていますんですけど、いかがでしょうか。

〈大石会長〉

事務局のほうで、そういったところいかがですか。

〈事務局〉

窓口を知った人が実際に相談に来たかどうかというお話ですが、相談にいらっしやらなければ、その数字は表には出てこないと思います。そもそも知っていなければ相談に来ようが無いところですので、相談窓口を知っていただくことが優先だと思っております。周知の時にDVの窓口だとわかるよう周知して、ご覧になった方がDVの相談であればここだとわかるよう強化していきたいと考えております。

〈木暮委員〉

考え方については了解しました。ただ、もし取れる場面があればそういうのもとった方がいいのではないかなって思っているんでデータとかそういう資料を作る際にちょっとお考えいただければ嬉しいです。

〈大石会長〉

ありがとうございます。

DVの関係で私から追加ですけれども、毎回計画には必ず児童虐待防止に関わる啓発、今回で言うと27ページの事業番号75と、29ページの81番のDVに関する職員研修会の開催のように入っていますが、少し気になるのは去年か一昨年に千葉で虐待死亡事件が起きて、そのことはどこの自治体も非常に重く受け止めていると思いますが、結局児童虐待の受付のところとDVの保護とがリンクできているのかとか、なかなか計画にうまく載せるのは難しいのですが、横のつながりをDVの防止に対してはぜひ持っていただきたい。もう一つ要望ですが、これはできるかわかりませんが、民生児童委員さんとも深く関わってくる問題で、そういった研修ももちろんされていると思いますが、ぜひそういった現場に、もしかしたら教育委員会の協力も必要になってくるかもしれませんが、教職員等、児童虐待とDVの関係についてはもう少し深く取り組めるといい

かなと思っております。ただ、どこの事業でどう入れるかは、今すぐはなかなか出てこないの、そういう視点をいれていただければという意見で申し上げます。

〈大石会長〉

他にいかがでしょうか。

〈石村委員〉

ものすごく細かいですが言葉のところで、障害の「害」を、ひらがなにするとというのが一つの傾向で、法令でも「障がい」とするのが新しいので出てきました。ということなので、この計画でもこれからはひらがなで使うというルールも必要かなというふうに思います。

〈大石会長〉

船橋市として庁舎内での表現の取り扱いがあるのでしょうか。

〈事務局〉

現在、障害福祉課という所属では、ひらがなではなく漢字で示した字を課名に使っているような状況になります。

その他の字につきましては、「障碍」を使うというようなお考えの方もいらっしゃると思います。おそらくそういったバランスの中でこの字を使わせていただくというようなことになるのかなと思いますが、こちらにつきましても一旦持ち帰らせていただければと思います。

〈石村委員〉

政府も場合によっては、ひらがなで使っています。

〈大石会長〉

他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

はい。ありがとうございます。

〈大石会長〉

では、次の議題の3「パートナーシップ宣誓制度について」事務局から説明をお願いします。

〈事務局〉

議題（３）パートナーシップ宣誓制度 についてご説明します。

別紙の資料２、ガイドブック（案）をご覧ください。

制度の決まり事そのものについては要綱で定めているところですが、市民の方に制度をわかり易くするためにガイドブックを作成しました。

構成としては、宣誓の流れや要件を説明したうえで、Q&Aで補足するという形になっています。

今回の会議では、このガイドブックを使って、改めて宣誓制度の説明を大まかにさせて頂いて、分かりづらい点についてはご指摘いただければと思います。

では、５ページをご覧ください。こちらは宣誓の流れについての説明になります。

まず、事前連絡を市民協働課にもらい、来庁の予約をお取りします。なお、市民の利便性や、個室の確保の関係上、実際の宣誓を行う場所は男女共同参画センターで行う予定であります。

その後、宣誓を行い、宣誓証明書やカードの交付を申請・発行という流れとなります。

続きまして６ページをご覧ください。こちらは宣誓の要件ですが、成年に達しているなどの取り決めを記載しております。その先にある宣誓に必要なもの、パートナーシップ宣誓書の様式の記載例などは形式的な部分ですので、説明を割愛させていただきます。

最後に、１２ページをご覧ください。ここからは「よくある質問」という事で、他市の例を参考に作成したQ&Aとなります。

他市の例に加え、以前、委員からご指摘のありましたプライバシーの配慮の部分については１４ページの下から二番目の項目に、希望者への個室の用意や、本人の許可なく例えば、「〇〇さんカップルが宣誓されました」などの宣伝に使わないという旨を記載いたしました。

最期に、前回の会議でご覧いただいた要綱の考え方についての補足です。要綱の考え方については１０月１日からパブリックコメントで市民の方に意見を募る予定です。説明は以上です。

〈大石会長〉

ありがとうございます。では、ただいまの説明に関してご質問意見等ありましたらお願いします。

〈石村委員〉

これ日付が令和３年度１２月になっていますけれども、一応これは流れとし

て制度ができるのが12月と考えていいのかということが1点。もう一つは、要綱の11条ですが、これが一番パートナーシップ制度の効果として出てくるところかなと思いますが、市民、事業者がパートナーシップ制度についてどういうふうな理解をするかという事になろうかなと思います。特に、事業者が、保険の問題だとか、そういったことで具体的にパートナー制度を配慮して、夫婦として扱うかという問題ですよね。夫婦かあるいは家族かといった形になりますが。これはあくまでも努力義務といった形で書いたということでは理解していいかという問題ですよね。だからここに留まるということになろうかなという風に思いますね。だからこれが一番制度の最大の問題点かなと思います。以上です。

〈事務局〉

12月に制度ができるのかという質問ですが、厳密に申しますと年内にやらせていただくということで公になっておりますので、スケジュールとしては12月頃になりそうというところではあります。具体的に12月で決まりということではないです。

それと要綱11条の、事業者への周知についてのお話ですが、これは努めていくというところで、具体的にどこまでの範囲に広げていくかまではなかなか難しいところではあります。少なくとも市では市営住宅や医療機関での対応というのを考えたいというところですので、それに関連する民間の部分については周知をしていこうという予定をしています。例えば医師会を通じて医療機関への周知ですとか、宅建協会のような民間の事業者への周知は行っていこうと考えています。

〈石村委員〉

だいたいわかりました。

〈大石会長〉

他にいかがでしょうか。

〈石村委員〉

あと細かいですけど、罰則は一切入っていませんが、それは考えないということですね。

〈事務局〉

罰則は特に予定していません。

〈大石会長〉

あとで委員がご覧になって気が付いた事があったら、いつまでならパートナーシップガイドブックの修正が間に合うか、教えていただけますか。

〈事務局〉

今月中であれば修正がきくところではありますので、何かあればぜひご連絡いただければと思います。

なお、本日ご覧いただいたガイドブックは、このあとで前回会議でお呼びしたアドバイザー等当事者の方にもご覧いただいて、内容のほうも詰めていきたいと考えておりますのでよろしくお願いします。

〈大石会長〉

では、あくまで市民がみてわかりやすいかという視点でみていただいて、後から表現ですとかお気づきの点がありましたら、今月中に事務局までお知らせいただければと思います。よろしくお願いします。

それでは、他はよろしいでしょうか。

〈大石会長〉

はい。ありがとうございます。それでは本日の議題は以上となります。